

【令和5年度障害児者医療研修事業 実績】

事業名 (相談・アドバイザー)	講演・研修の内容	開催日時	対象者	講師(実習等講師)	開催場所	募集人数	申込人数	参加人数
① 遺伝療育講演会	医療・療育・教育現場の支援者が、個々の疾患特性や行動特性に合わせた支援方法について理解を深める。 講義「染色体・遺伝性疾患の最近の話題と疾患特性の理解 2023 ~ダウン症候群を中心に~」 講演「良い栄養って何だろう~十人十色、一緒に考えよう~」 講演「染色体・遺伝性疾患のあるお子さんに対する作業療法 ~支援の実践について~」	11月11日(土) 13:30~16:30	染色体及び遺伝性疾患を持つ子どもの支援にかかわる医師、看護師、リハビリスタッフ、教員、療育福祉関係者など	総合センター中央病院 医師 稲葉 美枝 あいち小児保健医療総合センター 医師 小川 千香子 総合センター中央病院 リハビリテーション科長 小松 則登	ウインクあいち 中会議室	60人	71人	57名
② 重症心身障害児者医療療育推進講演会	重症心身障害児者が地域で安心して生活できるよう、支援者として必要な知識、情報を提供し、在宅生活・在宅支援の充実を図る。 講演「あいち小児保健医療総合センターにおける退院・在宅移行支援の取り組み~地域との連携を目指して」	7月8日(土) 13:30~15:00	重症心身障害児者医療に関わる関係施設職員、教育、療育、福祉関係者等	あいち小児保健医療総合センター 医師 糸見 和也 座長 総合センター中央病院 医師 山田 桂太郎	ウインクあいち 中会議室	60人	77人	56人
③ 第9回東海三県小児在宅医療研究会 (第11回あいち小児在宅医療研究会)	第11回あいち小児在宅医療研究会を兼ねる。 小児期発達の発達障害のある児(者)の在宅医療体制の拡充を図るため、小児在宅医療の関係者が一同に会した東海三県小児在宅医療研究会を実施することにより、相互に理解を深めて、小児在宅医療の推進に寄与することを目的とする。 ○テーマ 「医療的ケア児支援センター開設後の医療的ケア児とその家族への支援」 ○基調講演 「こどもと家族が描く医療的ケア児支援センターの未来予想図」 ○シンポジウム 愛知県 「にしおわり医療的ケア児支援センターの地域支援センターとしての取り組み」 岐阜県 「医療的ケア児支援センター/重症心身障害在宅支援センターみらいの活動」 三重県 「個人の困りごとを社会の課題にするために」	2024 2月25日(日) 13:00~17:00	病院小児科・新生児科・救急担当科等の勤務医、小児在宅医療に関心のある診療所医師、看護師(総合病院関係診療科、訪問看護ステーション、特別支援学校、福祉施設、介護事業所等に勤務看護師)、理学・作業療法士、教員、研究者、療育福祉関係者など	〈基調講演〉 みえキッズ&ファミリーホームケアクリニック 院長 岩本 彰太郎 座長:総合センター中央病院 三浦清邦 〈シンポジウム〉 愛知県 にしおわり医療的ケア児支援センター センター長 上村治 岐阜県 岐阜県看護協会 医療的ケア児支援センター 重症心身障がい在宅支援センターみらい 家族支援専門看護師 市川百香里 三重県 三重病院 ソーシャルワーカー 高村純子	ウインクあいち 大ホール	400人	479人	373人
④ 重症心身障害児者関係施設等支援者研修「食べるコース」	重症心身障害児者の「食べる」喜びを支援できるよう、障害児者の摂食機能障害や食事に関する支援方法について、理解を深める。 ①講演「嚥下障害診療のキホン」 ②講演「見学」私たち、こんな感じで食べてます」 ③講演・実習「試食「やさしい食事」を考える」 ④講演・実習「なにはなくとも口腔ケア！」	9月23日(土) 10:00~15:10	重症心身障害児者医療支援に関わる医師、看護師、リハビリスタッフ、栄養士、薬剤師、教員、療育・福祉関係者など	総合センター中央病院 DST委員会 ①リハビリテーション室長 門野泉 ②摂食嚥下障害認定看護師 鴨下・岩田・佐久本 ③栄養管理士 稲垣幸恵 ④歯科衛生士 田中恵	総合センター	42人	50人	39人
⑤ 重症心身障害児者関係施設等支援者研修「リハビリテーションコース」	障害児者のリハビリテーションに関する知識や考え方を身につけ、総合的な支援ができる人材の育成を図る。 グループワーク 「小児リハビリテーションの問題点、疑問点を考える」 講演「愛知県医療療育総合センターのリハビリテーション」 グループワーク 「症例検討」 講演「小児リハビリテーションの問題点の解決」	10月21日(土) 10:00~15:10	重症心身障害児者医療支援に関わる医師、看護師、リハビリスタッフ、教員、療育・福祉関係者など	総合センター中央病院 リハビリテーション科長 小松 則登 理学療法士 中尾 龍哉 作業療法士 渡邊 朱美 言語聴覚士 加藤 智浩 覚醒訓練士 渡邊 文章 リハビリテーション室長 門野 泉	総合センター	40人	35人	31名
⑥ 重症心身障害児者の呼吸ケア研修	重症心身障害児者の医療を行う上で、呼吸ケアの知識・技術が必要となるため、呼吸障害の病態生理とそれらに対する治療法や対処法を学ぶことで、理解を深めスキルアップを図る。 講演①「呼吸障害の病態と内科的管理法~長期的視点と医療機器の役割~」 ②「生活の質をあげる呼吸理学療法~本人・介助者が共に楽になる支援方法のヒント~」 ③「呼吸障害に対する外科治療~気管切開術・喉頭気管分離術とその注意点~」 ④「呼吸の原点としての口腔管理と口腔ケア~口腔病態と口腔ケアのポイント~」 実習 A: 医療機器実習 (人工呼吸器・排痰補助装置・気管カニューレ・口腔ケア) B: リハビリテーション実習 (ポジショニング体験・呼吸介助法)	11月26日(日) 10:00~15:30	障害児者医療・在宅医療に関わる医師、看護師、訓練士	総合センター中央病院 ①小児神経科医師 山田桂太郎 ②理学療法士 栗林健 ③小児外科医師 田中修一 ④歯科医師 加藤篤 実習 RST委員会	総合センター	32人	90人	32人
⑦ 重症心身障害児者看護実践研修	医療依存度の高い重症心身障害児者の支援に必要な看護技術のスキルアップを図る。 病棟実習・見学 呼吸介助・排痰介助・経管栄養・口腔ケア 人工呼吸器の取り扱い・排痰補助装置の説明及び使用場面などの見学 気管カニューレ・胃ろうの管理などの見学 講義「呼吸障害を起こす理由と看護ケアのポイント」	① 9月21日(木) ②11月 2日(木) ③12月21日(木) 9:00~15:00 (病棟)9:30~12:30 (講義)13:30~14:30	重症心身障害児者支援に関わる看護師	総合センター中央病院(実習) 内科混合病棟 外科混合病棟 HCU病棟 総合センター中央病院(講義) 医師 山田 桂太郎	総合センター	18人	44人	26人
合計人数						652人	846人	614人

## 【令和5年度 医療的ケア児支援研修事業 実績】

	事業名	講演・研修の内容	開催日時	対象者	講師（実習等講師）	開催場所	募集人数	申込人数	参加人数
医療的ケア児支援対策事業	①	医療的ケア児支援基礎研修 地域で医療的ケア児支援に関わる保育士等に対して、支援に必要な基礎知識・情報等を提供し、受入れ体制を支援する。 講義 「医療的ケア児について～チームで医療的ケア児を支えるために～」 「医療的ケア児と関りにおいて大切なこと」 演習 「実際の物品を見てみよう！」	6月25日（日） 13:40～17:00	医療的ケア児支援に関わる保育士等	総合センター中央病院 小児看護専門看護師 川路 美沙子（松尾）  医療保育専門士 中山 千佳  あいち医療的ケア児支援センター 川井・松尾	総合センター講堂	30人	74人	40人
	②	医療的ケア児支援基礎研修 地域で医療的ケア児支援に関わる保育士等に対して、支援に必要な基礎知識・情報等を提供し、受入れ体制を支援する。 講義 「医療的ケア児を地域で受け入れる」 「保育園で医療的ケア児を受け入れて」 「北名古屋における医療的ケア児支援の実際について」	9月2日（土） 13:30～16:30	医療的ケア児支援に関わる保育士等	あいち医療的ケア児支援センター 川井由紀  社会福祉法人 大和社会福祉事業センター みなみ保育園 園長 蜂須賀和香  北名古屋学校教育課 増柴沙也	ウイルあいち大会議室	100人	143人	121人
	③	医療的ケア児支援専門研修 地域で医療的ケア児支援に関わる看護師等に対して、支援に必要な専門知識・情報・技術等を提供し、スキルアップを支援する。 講義 「医療的ケア児を地域で支える」 「みんなで進めた！ 医ケア児まんなか支援～家族支援から体制整備・連携・協働まで～」 「学校看護師の役割」	12月10日（日） 13:30～16:30	医療的ケア児支援に関わる看護師等	あいち医療的ケア児支援センター 松尾由紀  犬山市健康福祉部健康推進課 保健センター 保健師 藤川佳織  名古屋市特別支援学校 看護師 清水美奈子	ウイルあいち大会議室	100人	120人	104人
	④	医療的ケア児支援者研修 医療的ケア児等の教育保障と医療安全を考える（連続講座） 『医療的ケア児支援法施行で進む医療的ケア児の進学』 ～医療的ケア児支援法で学校教育がどう変わるのか～ 講演 「医療的ケア児支援法の成立とその意義」 講義 「行政説明」 ディスカッション	8月29日（火） 13:30～16:30	特別支援教育に携わる職員等	永田町子ども未来会議事務局長 加藤 千穂  文部科学省 特別支援教育課 特別支援教育企画官 生方 裕	自治研修所	72人	63人	63人
	⑤	医療的ケア児支援者研修 医療的ケア児等の教育保障と医療安全を考える（連続講座） 『医療的ケア児が安心安全に通えている学校から学ぶ』 ～ハード・ソフトの医療安全と教育保障の事例～ 講演 「保育園や学校への訪問看護ステーションによる支援」 講演 「特別支援学校における医療的ケア児の受入れについて」 ディスカッション	10月3日（火） 13:30～16:30	特別支援教育に携わる職員、医療的ケア児等コーディネーター等	株式会社スペースなる 代表 梶原 厚子  刈谷市立刈谷特別支援学校 教諭 長坂 利幸  文部科学省 初等中等教育局特別支援教育課 医療的ケア対策専門官 齋藤 綾子 医療的ケア支援第一係 中宮 将宏	西三河総合庁舎	120人	66人	64人
							422人	466人	392人